

4車線化

安全・安心の更なる向上を目指して

暫定2車線区間の課題

速度低下・渋滞

4車線区間と比較すると規制速度が低く低速車両の追い越しができないため、後続車両を含め全体的に速度が低下し、渋滞が発生しやすくなっています。

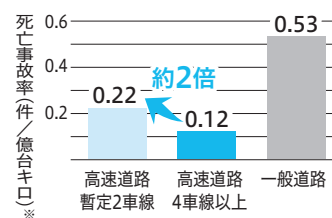


阪和道 印南IC～みなべIC

→ 時間信頼性確保

正面衝突等による重大事故

反対車線と完全に分離する構造になっておらず、ひとたび事故が発生すると、正面衝突に発展する等により、死亡事故等の重大事故となるおそれが4車線区間と比較すると高くなっています。



※高速道路:H25-R3 高速自動車国道(有料)
一般道路:H25-R3 一般国道、主要地方道、県道、市町村道、その他道路
出典:自動車燃料消費量調査 月報の各年1～12月
高速トラカンデータ

事故防止の緊急対策として実施している区画柵の設置については、P.20へ

→ 事故防止

課題への対応 — 4車線化 —

暫定2車線区間における課題を踏まえ、お客さまの安全・安心の確保、大規模災害時の早期復旧の支援等の観点からも、暫定2車線区間の計画的な4車線化を推進しています。



東九州道 宮崎西IC～清武IC 切土による拡幅



広島呉道路 坂北IC～呉IC 4車線化工事プレスツアー



東九州道(隼人道路) 隼人東IC～隼人西IC 清水川橋下部工工事

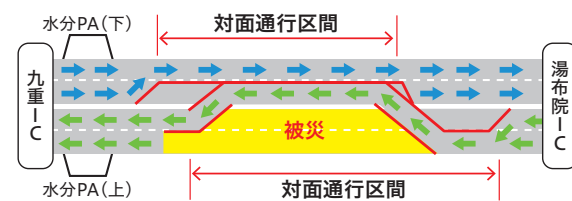


徳島道 脇町IC～美馬IC 脇大谷川橋下部工工事

通行止めの発生や長期化

- ・事故や積雪等による立ち往生発生時に追い越しができず通行止めとなります。
- ・大規模な工事を実施する際に、長期間の通行止めが必要となります。
- ・災害発生時における全面通行止めの解除に時間がかかります。

→ ネットワークの代替性確保



「令和2年7月豪雨」の被災事例

4車線区間では、上下線のいずれかが被災しても残る車線を対面通行とすることで、早期に交通機能を確認し、復旧支援や緊急物資運搬等に大きく貢献できます。



TOPICS 4車線化工事の完成に合わせた通行料金の変更

有料道路事業の導入により4車線化事業を行っていた以下の2路線が、2024年度から順次完成します。完成後、国土交通省から当社に管理が移管され、通行料金が変わります。

●西九州道 佐々IC～佐世保大塔IC

佐々IC～佐世保中央ICの4車線化完成に合わせて新たな料金へ切り替え



【凡例】 ■ NEXCO有料道路(事業中) ■ NEXCO有料道路(供用中) ■ 其他有料道路(供用中) ■ 主な一般国道

●八木山バイパス

2024年度内の篠栗IC～筑穂ICの4車線化完成に合わせて料金徴収を開始



通行料金の詳細については下記ニュースリリースを、完成時期等の最新情報は当社ウェブサイトをご確認ください。

西九州道の料金に関するニュースリリース



八木山バイパスの料金に関するニュースリリース



ウェブサイト(最新情報はこちら)



Voice

お客さまと一緒に、スムーズに完成を迎えるために
佐世保道路4車線化事業に伴う長期夜間通行止めの周知や、ETC利用促進を目的としたETC割引制度の紹介など、イベント等の多様な手段を通して、事業理解や完成後の利用しやすい高速道路に向けた広報を強化しています。
今後は、4車線化完成に伴う料金変更について事前にお客さまにご認識いただき、スムーズに完成を迎えられるよう、引き続き広域的な広報を展開していきます。



ささばシーサイドフェスティバルでは、パネル展示やETC利用促進の個別説明を実施

九州支社 佐世保工務事務所 工務課 古川 隆一
佐賀高速道路事務所 総務課 吉村 妃菜希